

令和3年度 第1回太田市公共事業入札等監視委員会 委員コメント

小川委員長

令和2年度、令和3年度上半期の入札契約状況について、詳細なご説明をいただき審査をさせていただきます。

落札状況は順調に推移しているものとみられますし、令和3年度からの入札制度の変更についても不調などの状況を今後も監視していければと思います。

新しい体育館についての随意契約についても審議がありました。

スポーツによる地域振興と市民の期待する太田市の将来像との間で調和の取れた開発がなされることを期待します。

大谷副委員長

令和2年度入札は適正になされていると思われました。令和3年度上半期入札契約状況では、プロポーザル方式の大規模な設計施工の契約があり、技術力や設計の点である程度の規模の会社への発注となることは理解できました。

公共工事を通して太田市の景気向上につながることを期待しております。また、コロナ禍による工事の状況も影響は思ったよりも少ないと思われました。今後も、公正性・公平性・透明性を損なうことのない適正な入札執行の徹底を継続して行うことを希望いたします。

大島委員

今回の委員会においては、令和2年度の入札契約実績及び令和3年度上半期の入札契約状況について報告を受けました。また、令和3年度の入札制度については、発注予定工事の公表回数増加や入札参加申請期間の延長等、活用しやすい方法に改められたとのこと。今後の地元業者の入札参加、そして地元業者への発注が増えることを期待しています。

プロポーザル方式が採用された太田市運動公園市民体育館建設工事については、事業費が当初の予定から大幅に増加。今回のような大きな事業は希有で予想できないこともあると思いますが、事前の調査を綿密にすることが肝要であると感じました。

大澤委員

令和3年度上半期の入札契約状況について説明していただき、適正であると理解いたしました。発注後の辞退が多いとのことで、入札制度等が見直されたことです。難しい課題ではありましたが、正解はないので、その都度見合った改正が行われると言うことで、安心いたしました。

今後も太田市発展の為に、様々な公共工事が増えていく事と思います。その際には引き続き公平公正な入札が行われることを期待いたします。